実施	平成28年度

事務事業事後評価表

≪基本情報≫

事務事業の名称【1】	花の都づくり推進事業	所管課【2】	建設管理課
		評価者(担当者)	柴尾香織
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり	重点施策【4】
	主要施策(節)	(4)公園・緑地等の整備	☑該当
	施策区分	(2)「花の都玉名」づくりの推進	
	(市民意識調査結果)	☐【A】重点改善領域 ☐【B】重点維持領域 ☐【C】観察領域 ☑【D】維持領域	
実施の根拠(複数回答可)【5】	☐市長公約 ☐新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 ☑法令、県・市条例等【 玉名市花の拠点づくり事業材料等支給要綱 】 ☐その他の計画【 】 ☐該当なし		
事業区分【6】	☑ソフト事業 ☐義務的事業 ☐建設・整備事業 ☐施設の維持管理事業 ☐内部管理事務 ☐計画等の策定事務		
会計区分【7】	☑一般会計 ☐特別・企業会計【 】	款 8 項 5 目 6 細目 2	

≪事務事業の目的≫

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	花と緑があふれるまちづくりを目指すために、市内小学校や玉名21の星事業、ボランティア団体・各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援する必要がある。
対象(誰、何に対して)【9】	市民、来訪者
意図(どのような状態にしたいのか)【10】	花の植栽により、地域住民や玉名を訪れる人々に安らぎのある景観を提供し、玉名市のイメージアップを目指す。

≪事務事業の概要≫

事業期間【11】	☐単年度のみ【 年度】 ☑単年度繰返し【 H17 年度から】 ☐期間限定複数年度【 年度～ 年度まで】	
事業主体【12】	☐国 ☐県 ☑市 ☐民間 ☐その他【 】	
実施方法【13】	☐直営 ☐全部委託 ☑一部委託 ☐補助金等交付 ☐その他【 】	
事務事業の具体的内容【14】	花の拠点づくりを行うことによって、地域が花でいっぱいになるよう事業を行っている。花づくりを行う団体に対し、材料等(種、肥料、土、その他材料及び資材)の支給や、支援を行う。 ・花づくり団体及び学校による花づくり拠点の維持。 ・公共施設及び自治会等への花苗配布	⇒ 事務事業を構成する細事業【15】 ① 花の拠点づくり事業 ② 花の都づくり推進事業(花の管理及び植栽業務) ③ ④ ⑤

≪事務事業実施に係るコスト≫

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金 %					
		県支出金 %					
		起債 %					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	10,095	9,093	9,541	9,900	
		【16】小計	10,095	9,093	9,541	9,900	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職員の人件費	職員人工数	1.10	1.20	0.65	0.65	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
		【17】小計	5,966	6,913	3,745	3,745	
合計			16,061	16,006	13,286	13,645	

≪事務事業の手段と活動指標≫【18】

事務事業を構成する細事業		手段（細事業の具体的内容）	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
①	花の拠点づくり事業	肥料及び種子の助成。	支給団体数	団体	10	9	9	11
②	花の都づくり推進事業（花の管理及び植栽業務）	委託により花苗を育て、市内の公共施設に植栽を行う。	植栽サイクル数	回	3	3	3	3
③								
④								
⑤								

≪事務事業の成果≫【19】

	成果指標（意図の数値化）	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
				H25実績	H26実績	H27実績	
1	植込み箇所	地域で植込みを行った花壇数	箇所	46	46	36	50
				46	36	43	
2	花苗配布箇所	花苗を施設に配布・植栽した箇所数	箇所	24	24	24	43
				24	24	43	

≪事務事業の評価≫

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性〈判定〉A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	☐ 問題あり ☑ 問題なし	事業を止めた場合、花づくりを定着させることが出来なくなり、「花の都玉名」づくりの実現に向けて支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	☐ 問題あり ☑ 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	☑ 影響あり ☐ 影響なし	
有効性〈判定〉B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	☑ 達成 ☐ 未達成	花づくり事業の更なる周知拡大は基より、事業採択要件の見直しを行い、制度を利用しやすい体制づくりを図った。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	☑ 余地あり ☐ 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	☑ 十分 ☐ 不十分	
効率性〈判定〉A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	

≪今後の方向性と改善≫

今後の方向性【31】	☐ 拡充して継続　☑ 現状のまま継続　☐ 縮小を検討　☐ 休止・廃止を検討 ☐ 細事業の効率化【 ☐ 改善・見直し　☐ 民間活用　☐ 他事業と統合　☐ 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	花づくりを定着させ、「花の都玉名」づくりをコンセプトに花苗の生産と配布、公園への植栽管理を今後も継続して行う。
昨年からの見直し・改善状況【32】	公共用地のみではなく公衆性のある敷地に対しても補助を行うなど、事業採択要件の見直しを行った。

■評価責任者記入欄■

		評価責任者
評価責任者（課長）の所見【33】	地域住民や玉名を訪れた人々に安らぎのある景観を提供するために事業採択要件を緩和し、拡充を図った。	前田　慎一郎